教科	理科	科目(	単位数)	生物 (4)	学年	3	類型	普通科	
学習目標	生物学の基本的な概念や原理・原則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察・実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を培う。								
期間	単元(学習内容)			学習の到達目標				自己評価	
4月~5月	1編 生命現象と物質 ①生体物質と細胞 ②生命現象を支えるタンパク質 ③代謝とエネルギー			<ul><li>①細胞の内部構造とそれを構成する物質の特徴を理解する。</li><li>②酵素や膜のタンパク質など様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解する。</li><li>③呼吸によるエネルギーの取り出し、光合成による光エネルギーを用いた有機物の合成、窒素同化の概要を図を用いて表現できるようになる。</li></ul>				取組 理解 関心	A B C D A B C D A B C D
6月	<ul><li>2編 遺伝子のはたらき</li><li>① D N A の構造と複製</li><li>②遺伝情報の発現</li><li>③遺伝子の発現調節</li><li>④バイオテクノロジー</li></ul>			<ul><li>①DNAの構造及び複製のしくみについて理解する。</li><li>②遺伝子の発現のしくみを理解する。</li><li>③遺伝子の発現が調節されており、転写の調節をそれに関わるタンパク質と関連づけて考える。</li><li>④遺伝子を扱う技術について、その原理と有用性を資料を基に考えることができる。</li></ul>				取組 理解 関心	A B C D A B C D A B C D
7月~9月	3編 生殖と発生 ①多様な個体が生じる有性生殖 ②動物の発生 ③動物の発生のしくみ ④植物の発生のしくみ			<ul><li>①有性生殖と無性生殖を比較し、有性生殖では多様な個体が生じることをメリット、デメリットを含め考えることができる。</li><li>②配偶子形成、受精、初期発生の過程について理解する。</li><li>③形態形成のしくみと細胞の分化について考える。</li></ul>				取組 理解 関心	A B C D A B C D A B C D
10月~11月	4編 生物の環境応答 ①動物の刺激の受容と反応 ②動物の行動 ③植物の環境応答			<ul><li>①外界の刺激を受容し、神経系を介して、反応するしくみを理解する。</li><li>②刺激に対する反応としての動物個体の行動について資料から考えることができる。</li><li>③植物が環境変化に反応するしくみを実験を基に考える。</li></ul>				取組 理解 関心	A B C D A B C D A B C D
2 学期期末 ~年度末	6編 生物の進化と系統 ①生命の起源と生物の変遷 ②進化のしくみ			<ul><li>①生命の起源と生物進化の道筋について資料を基に考える。</li><li>②生物の進化がどのようにして起こるのか資料を基に考え、話し合いを通して表現できるようになる。</li></ul>				取組 理解 関心	A B C D A B C D A B C D
使用教材 (教科書・副教材)		東京書籍 スタンダード生物							
学習方法		①全体指導の中で、発問を積み重ねて理解させる。 ②グループ(ペア)をつくり、事象について説明し合い学び合う場をつくる。 ③課題等で、学習内容の確認を行い定着化を図る。 ④実験を行い、体験的に学習内容を理解する。							
評価方法		①定期考査(約8割) ②課題・レポート等の提出 ③授業中の取り組み(授業プリントの提出)							